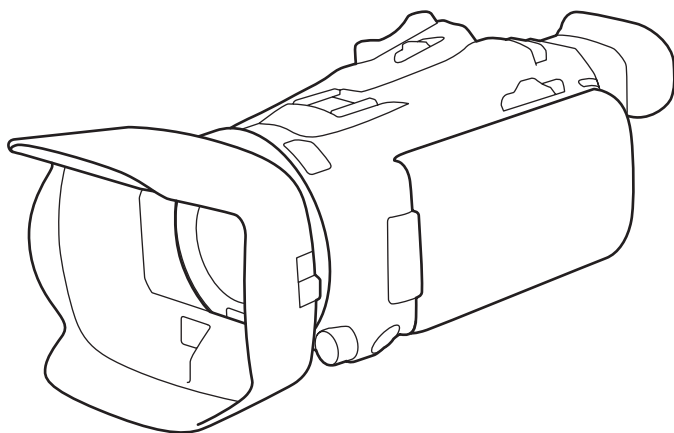


HD ビデオカメラ

# iVIG HF G40

クイックガイド



HDMI

AVCHD  
Progressive



CANON  
iMAGE  
GATEWAY

## 📖 ビデオカメラの使用説明書 (PDF形式の電子マニュアル)

本書では基本操作のみ説明しています。詳細についてはビデオカメラの使用説明書 (電子マニュアル) をご覧ください。

ビデオカメラの使用説明書をダウンロードするためには、下記の URL にアクセスします。

QR コードからダウンロードすることもできます。

なお、電子マニュアルを閲覧するには Adobe Reader が必要です。

[www.canon.com/icpd](http://www.canon.com/icpd)

[Japan] を選んだ後、製品マニュアルのダウンロードページへ進んでください。



# もくじ

- 4 商品を確認する
- 4 ビデオカメラの使用説明書 (PDF)について
- 5 各部の名称
  - 5 本体の名称
  - 10 リモコン WL-D89の名称
- 11 画面の見かた
  - 11 撮影時の画面表示
  - 15 再生のときの画面
- 17 バッテリーを充電する
  - 17 フェライトコアを取り付ける
  - 17 バッテリーを充電する
- 20 カメラを準備する
- 21 カードを使用する
- 22 日付／時刻を合わせる
- 23 動画や静止画を撮影する
  - 23 拡大して撮る (ズーム)
  - 24 動画形式を選ぶ
  - 24 画質を選ぶ
  - 24 スマートフォンなどを使ってビデオカメラをコントロールする
  - 25 撮影を終了したとき
- 26 シーンや静止画を再生する
  - 27 Android / iOSのスマートフォンなどのWebブラウザで見る
- 28 外部モニターを接続する
- 30 シーンや静止画をパソコンに保存する
  - 30 Data Import Utility
  - 30 CameraWindow

- 31 安全上のご注意
- 33 取り扱い上のご注意
- 38 主な仕様
- 41 商標について
- 42 保証書と修理対応
- 43 修理について

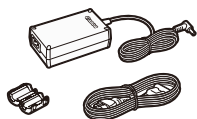
「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」  
を必ずお読みください(📖 31～37ページ)

## 商品を確認する

iVIS HF G40には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



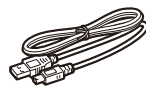
ビデオカメラ本体



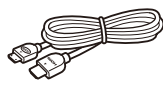
コンパクトパワーアダプター  
(ACアダプター) CA-570



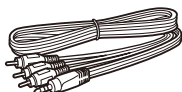
バッテリーパック  
BP-820



USBケーブル  
IFC-300PCU/S



ハイスピードHDMIケーブル  
HTC-100/S



ステレオビデオケーブル  
STV-250N



バリア付きレンズフード



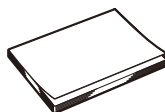
レンズキャップ



リモコン (ワイヤレスコン  
トローラー) WL-D89



コイン型リチウム電池  
CR2025(リモコン用)



クイックガイド (本書)

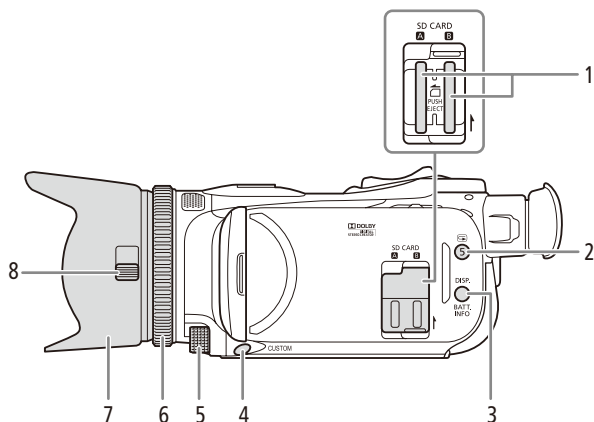
### ビデオカメラの使用説明書 (PDF) について

本クイックガイドは、ビデオカメラの基本的な使いかたについて説明しています。応用機能や使用上の注意事項を詳しく知りたいとき、「故障かな?」と思ったときやエラーメッセージが出たときは、ビデオカメラの使用説明書 (電子マニュアル) をご覧ください。本クイックガイド内の [☞PDF](#) で示したページは、使用説明書 (電子マニュアル) 内のページを示しています。

# 各部の名称

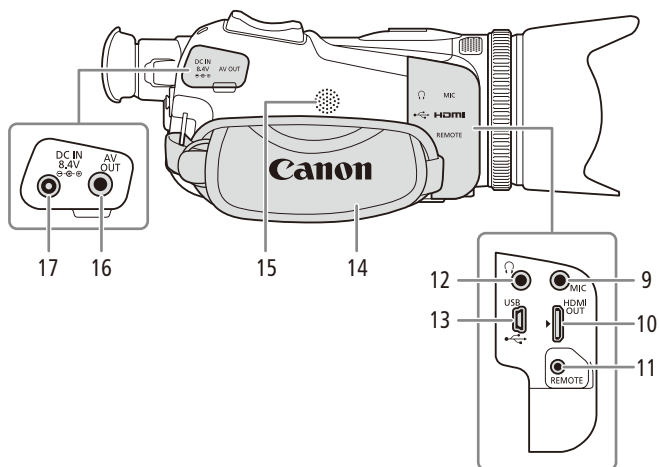
各部の機能と使いかたについては、▶ [PDF](#)▶ に記載されているページをご覧ください。

## ■ 本体の名称

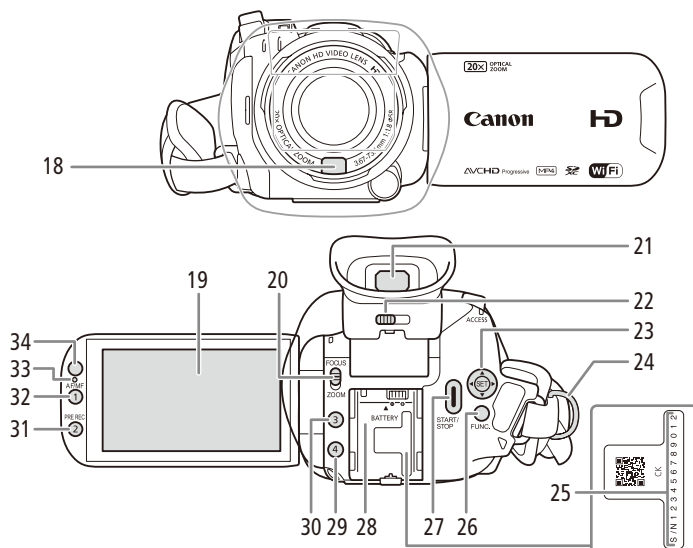


- 1 カードスロット **A / B** ▶ [PDF](#)▶ 36
- 2 (レックレビュー) / アサイン5ボタン ▶ [PDF](#)▶ 51
- 3 DISP.(ディスプレイ) ▶ [PDF](#)▶ 118 / BATT. INFO(バッテリー情報) ボタン ▶ [PDF](#)▶ 23
- 4 CUSTOM(カスタム) ボタン ▶ [PDF](#)▶ 122
- 5 CUSTOM(カスタム)ダイヤル ▶ [PDF](#)▶ 122
- 6 フォーカス/ズームリング ▶ [PDF](#)▶ 61, 69
- 7 レンズフード ▶ [PDF](#)▶ 24
- 8 レンズバリア開閉スイッチ ▶ [PDF](#)▶ 44

## 各部の名称

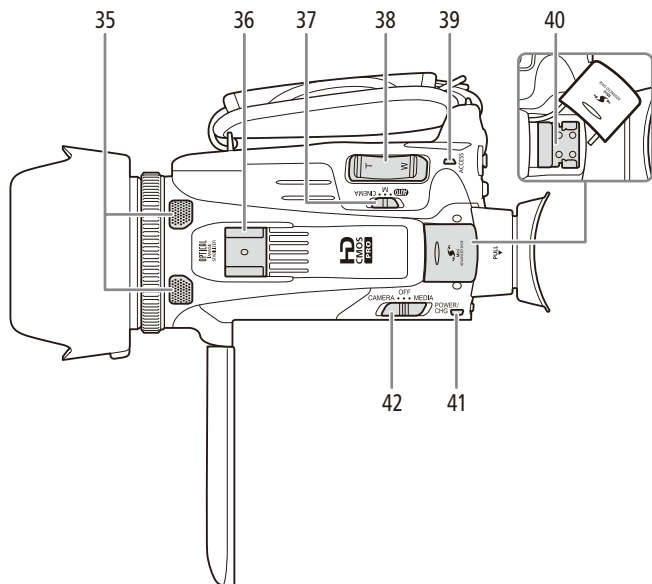


- 9 MIC(マイク)端子 ▶▶ [PDF](#)▶▶ 100
- 10 HDMI OUT端子 ▶▶ [PDF](#)▶▶ 140
- 11 REMOTE(リモート)端子
  - 市販のリモコンなどを接続する
- 12 Ⓜ(ヘッドホン)端子 ▶▶ [PDF](#)▶▶ 112
- 13 USB端子 ▶▶ [PDF](#)▶▶ 119、152
- 14 グリップベルト ▶▶ [PDF](#)▶▶ 26
- 15 内蔵スピーカー ▶▶ [PDF](#)▶▶ 133
- 16 AV OUT ▶▶ [PDF](#)▶▶ 140
- 17 DC IN端子 ▶▶ [PDF](#)▶▶ 20



- 18 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ [PDF](#) 65
- 19 有機ELパネル (タッチパネル) ▶▶ [PDF](#) 26、32
- 20 フォーカス/ズームリング切り換えスイッチ ▶▶ [PDF](#) 61、69
- 21 ビューファインダー ▶▶ [PDF](#) 25
- 22 視度調整レバー ▶▶ [PDF](#) 25
- 23 ジョイスティック ▶▶ [PDF](#) 33
- 24 ストラップ取り付け部 ▶▶ [PDF](#) 27
- 25 シリアル番号 (機番)
- 26 FUNC.(ファンクション)ボタン ▶▶ [PDF](#) 33
- 27 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ [PDF](#) 45
- 28 バッテリー装着部 ▶▶ [PDF](#) 20
- 29 アサイン4ボタン ▶▶ [PDF](#) 125
- 30 アサイン3ボタン ▶▶ [PDF](#) 125
- 31 PRE REC(プレREC) /アサイン2ボタン ▶▶ [PDF](#) 117、125
- 32 AF/MF切り換え/アサイン1ボタン ▶▶ [PDF](#) 61、125
- 33 照度センサー ▶▶ [PDF](#) 216
- 34 リモコン受光部 ▶▶ [PDF](#) 28

## 各部の名称



35 内蔵マイク ▶▶ [PDF](#)▶▶ 99

36 コールドシュー

37 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ [PDF](#)▶▶ 31、45

38 グリップズーム ▶▶ [PDF](#)▶▶ 70

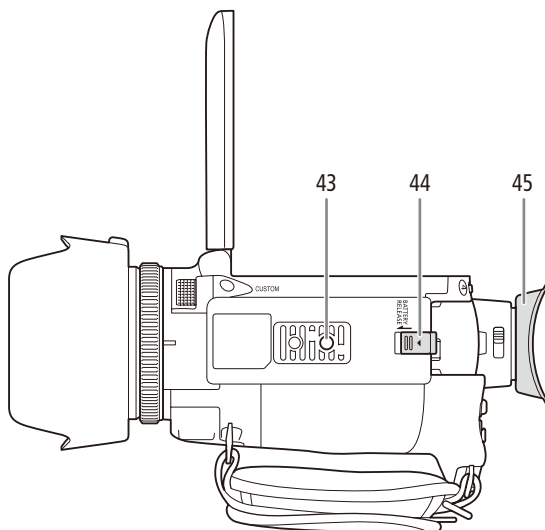
39 ACCESS(アクセス)ランプ ▶▶ [PDF](#)▶▶ 36

40 Mini ADVANCED SHOE(ミニアドバンストシュー) ▶▶ [PDF](#)▶▶ 97

41 電源ランプ/CHG(充電)ランプ ▶▶ [PDF](#)▶▶ 20

42 POWER(電源)スイッチ ▶▶ [PDF](#)▶▶ 30





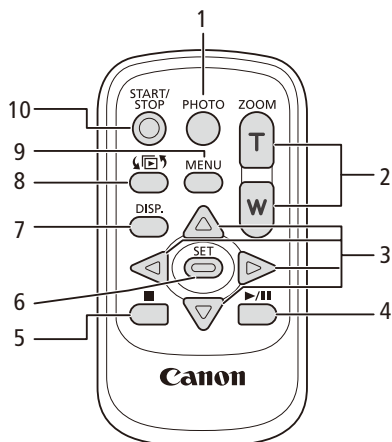
43 三脚ねじ穴 ▶ [PDF](#)▶ 29

44 BATTERY RELEASE(バッテリー取り外し)スイッチ ▶ [PDF](#)▶ 22

45 アイカップ ▶ [PDF](#)▶ 25

## 各部の名称

### ■ リモコン WL-D89の名称



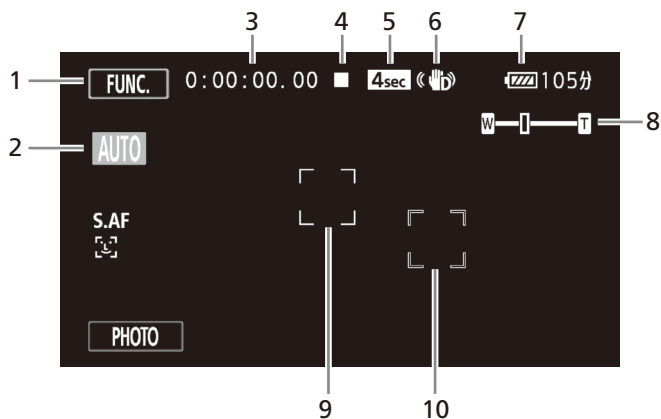
- 1 PHOTO(フォト)ボタン ▶▶ [PDF](#) 46
- 2 ZOOM(ズーム)ボタン ▶▶ [PDF](#) 69
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタン
- 4 ▶/|| (再生/一時停止)ボタン ▶▶ [PDF](#) 132
- 5 ■ (停止)ボタン ▶▶ [PDF](#) 130
- 6 SET(設定)ボタン
- 7 DISP.(ディスプレイ)ボタン ▶▶ [PDF](#) 118
- 8 ◀▶ (インデックス選択)ボタン ▶▶ [PDF](#) 131
- 9 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ [PDF](#) 37
- 10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ [PDF](#) 45

# 画面の見かた

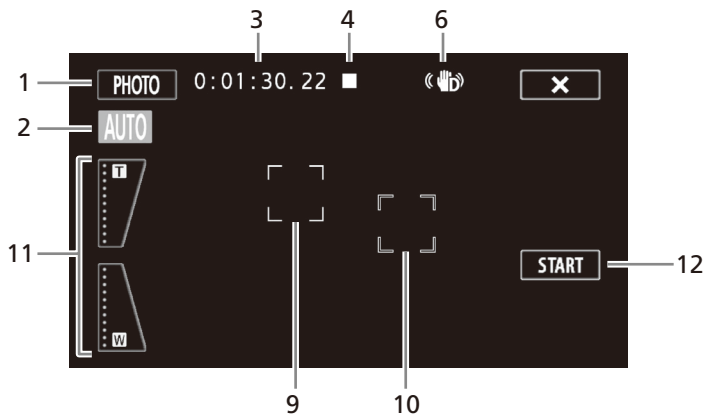
撮影中や再生中に表示される情報です。

## 撮影時の画面表示

### AUTO (オート)モード



### AUTO (オート)モード (ズームボタン使用時)



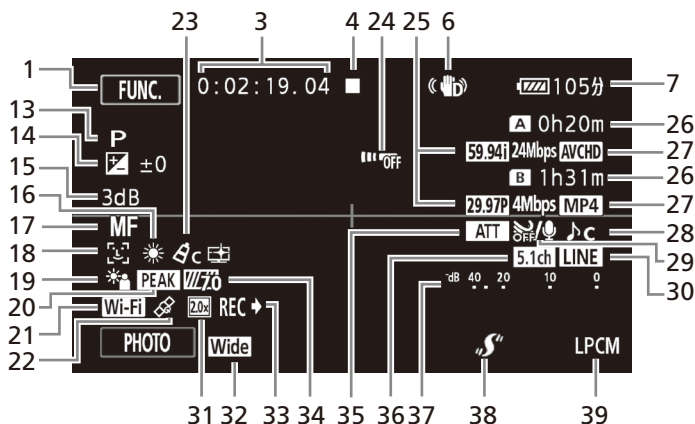
- 1 [PHOTO]ボタン▶▶ [PDF▶▶ 46](#) /  
[FUNC.]メニュー▶▶ [PDF▶▶ 204](#)
- 2 こだわりオート▶▶ [PDF▶▶ 47](#)
- 3 タイムコード  
(時：分：秒：フレーム数)▶▶ [PDF▶▶ 93](#)
- 4 撮影状況  
●：撮影(録画) ■：撮影停止中
- 5 **4sec** ビデオスナップ▶▶ [PDF▶▶ 116](#)  
📷 プレREC▶▶ [PDF▶▶ 117](#)
- 6 手ブレ補正▶▶ [PDF▶▶ 48、77](#)
- 7 バッテリー残量の目安



バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。🔴が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

- 8 ズーム▶▶ [PDF▶▶ 69](#)
- 9 顔検出枠▶▶ [PDF▶▶ 67](#)
- 10 タッチ追尾枠▶▶ [PDF▶▶ 67](#)
- 11 ズームボタン▶▶ [PDF▶▶ 75](#)
- 12 START/STOPボタン▶▶ [PDF▶▶ 45](#)

## M(マニュアル)モード



13 P撮影モード▶▶ PDF▶ 80

14 露出▶▶ PDF▶ 83

15 AGCリミット▶▶ PDF▶ 79

16 ホワイトバランス▶▶ PDF▶ 87

17 フォーカス▶▶ PDF▶ 61

18 [C]フェイスキャッチ&amp;追尾▶▶ PDF▶ 67

[C]フェイスオンリー AF▶▶ PDF▶ 68

19 強制逆光補正▶▶ PDF▶ 85

20 ピーキング▶▶ PDF▶ 63

21 ブラウザーリモート▶▶ PDF▶ 172

22 GPS▶▶ PDF▶ 119

GPSレーザー GP-E2(別売)を装着したとき表示されます。

23 ピクチャー設定▶▶ PDF▶ 91

☑ 高輝度優先

24 リモコンセンサー▶▶ PDF▶ 216

25 フレームレート▶▶ PDF▶ 56 /

録画モード▶▶ PDF▶ 52

26 撮影可能時間

[A]/[B]カードA / カードB

[A]/[B]リレー記録▶▶ PDF▶ 55

● 「同時記録」(PDF▶ 55)を設定しているときは、A/Bのカードが表示されます。

● 「Slow &amp; Fast モーション」時は、x0.5やx1200など、設定した記録速度が表示されます。▶▶ (PDF▶ 57)

カードに空きがなくなると、「[A]END」または「[B]END」が赤く点灯し、停止します。

27 動画形式▶▶ PDF▶ 40

28 オーディオシーン▶▶ PDF▶ 101

29 内蔵マイクウィンドカット▶▶ PDF▶ 105

30 MIC端子入力選択▶▶ PDF▶ 110

31 デジタルテレコン▶▶ PDF▶ 76

32 コンバージョンレンズ▶▶ PDF▶ 210

33 記録コマンド▶▶ PDF▶ 50

- 34 ゼブラパターン ▶▶ [PDF](#) 86
- 35 マイクアッテネーター ▶▶ [PDF](#) 106
- 36 サラウンドマイク ▶▶ [PDF](#) 99
- 37 レベルメーター ▶▶ [PDF](#) 103、110

- 38 ミニアドバンストシュー ▶▶ [PDF](#) 99
- 39 音声記録形式 ▶▶ [PDF](#) 52  
「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」を選択しているとき、表示されます。

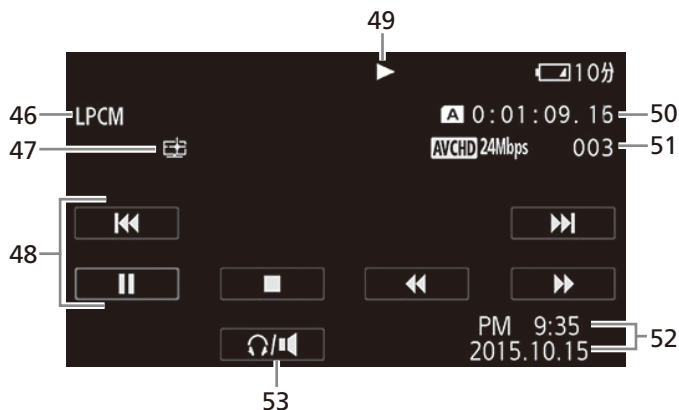
## CINEMA (シネマ)モード



- 40 しぼり数値 / NDフィルター ▶▶ [PDF](#) 82
- 41 シャッタースピード ▶▶ [PDF](#) 82
- 42 ゲイン ▶▶ [PDF](#) 82
- 43 ハイスピードAF ▶▶ [PDF](#) 65
- 44 シネマルックフィルター ▶▶ [PDF](#) 59
- 45 マーカー ▶▶ [PDF](#) 210

## 再生のときの画面

## 動画のとき（操作ボタン表示時）



## MP4動画のとき



## 46 音声記録形式 ▶▶ PDF ▶▶ 52

「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で記録したシーンを再生しているとき、表示されます。

## 47 高輝度優先 ▶▶ PDF ▶▶ 91、131

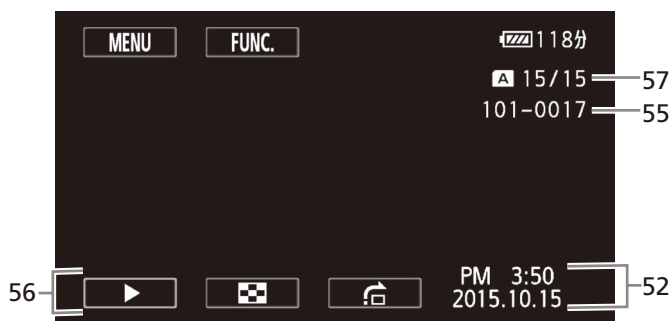
## 48 操作ボタン（動画）

## 49 再生状況

- ▶ : 再生    || : 再生一時停止
- ▶▶ : 早送り    ◀◀ : 早戻し
- ◀|/▶ : 逆スロー再生/スロー再生
- ◀||/||▶ : コマ戻し/コマ送り

## 50 タイムコード

静止画のとき（操作ボタン表示時）



- 51 再生シーン番号
- 52 データコード ▶▶ [PDF](#) 211
- 53 ヘッドホン音量/スピーカー音量  
▶▶ [PDF](#) 112、133
- 54 Slow & Fastモーション ▶▶ [PDF](#) 57
- 55 ファイル番号 ▶▶ [PDF](#) 213
- 56 操作ボタン（静止画）
- 57 表示枚数/全枚数



Step 1

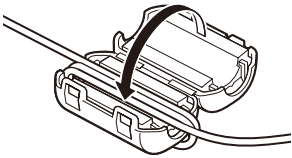
# バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) をつないで使用できます。

はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

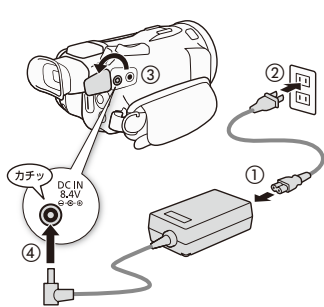
## フェライトコアを取り付ける

コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を使用するまえに、フェライトコアを取り付けてください。フェライトコアを取り付けることで、発生するノイズを低減できます。

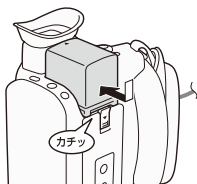


- 1 コンパクトパワーアダプタのプラグの端 (ビデオカメラに接続しているプラグ) から約6cmの位置で、フェライトコアを取り付ける。
- 2 ケーブルを中心に通して、フェライトコアに1回巻きつけて、フェライトコアを閉じる。

## バッテリーを充電する

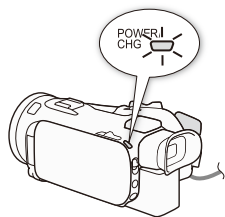


- 1 コンセントにつなぐ



- 2 バッテリーを取り付ける

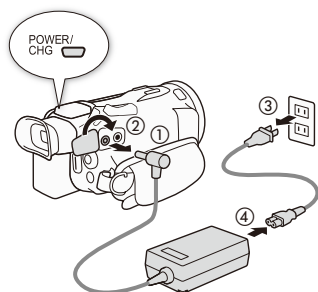
## バッテリーを充電する



### 3 電源OFFで充電開始

赤く点灯

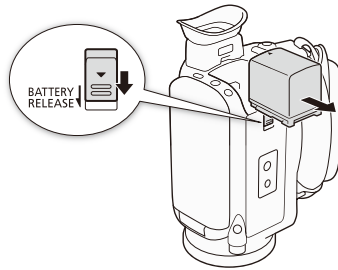
点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」([PDF](#)224)をご覧ください。



### 4 点灯→消灯で充電完了

バッテリーを取り外すとき

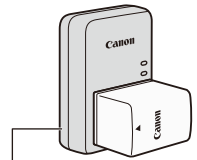
バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押し取り外す。



- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を固定して使用しないでください。



- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃(使用温度)の範囲外の場合は、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG(充電)ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は **PDF** 257～258ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリー BP-820の充電時間は約275分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャー CG-800Dを使うと約190分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、**PDF** 245ページをご覧ください。



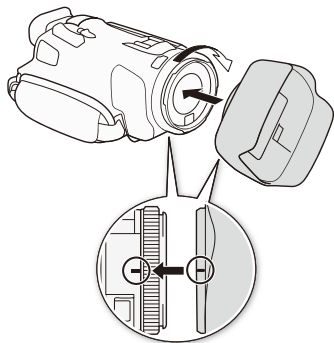
バッテリーチャージャー CG-800D(別売)

## Step 2

# カメラを準備する

ここではレンズフードの取り付け、グリップベルトの調整、タッチパネルでの操作など、はじめに行うカメラの準備について説明します。詳細については、ビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

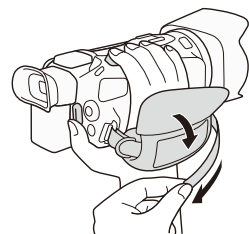
カメラを準備する [PDF](#) 24



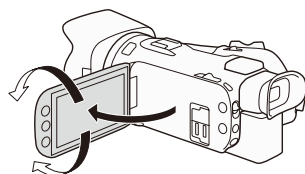
### 1 レンズフードを取り付ける

レンズキャップを取り外してから、レンズ先端部にフードをはめ込み、目印が真下に来るよう取り付け(①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す(②)

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け/取り外しにくくなります。取り外すときは、フードを矢印の反対方向に回してください。

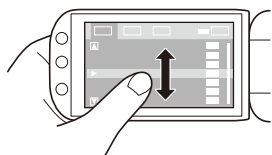


### 2 親指がスタート/ストップボタンに、人さし指がグリップズームに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。



### 3 有機ELパネルを使う

有機ELパネルを手前に引き出し、見やすい位置まで回転させる



### 4 タッチパネルで操作する

有機ELパネル（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。画面に表示される項目やボタンを指で押すタッチ操作と、画面を押したまま上下または左右に指を移動するドラッグ操作があります。

- FUNC.（ファンクション）ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作することもできます（[PDF](#) 33）。

## Step 3

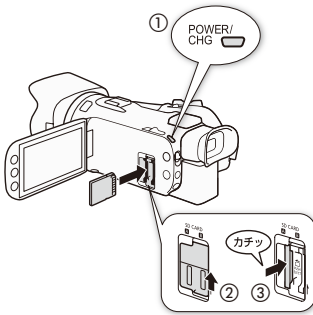
## カードを使用する

本機では、動画や静止画をSDカードに記録します。カードをはじめて使用するときは、本機で初期化してください。

使用可能なメモリーカードや初期化の詳細については、ビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

カードを準備する [PDF](#)▶24

カードを初期化する [PDF](#)▶39



1 電源をOFFにする (①)

2 カードカバーを開ける (②)

3 カードのラベル面をレンズ側に向けて、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる (③)

- カードスロット **A** と **B** いずれかに一枚ずつ入れることもできる。

#### カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



#### ご注意

- アクセランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードを取り出さない。
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。



#### MEMO

誤ってデータを消さないために



誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にするると、データを保護できます。

## Step 4

# 日付／時刻を合わせる

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておく、現地時間で記録できます(☞PDF▶250)。

カードを準備する ☞PDF▶ 36

初期化する ☞PDF▶ 39

### 1 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする

はじめて電源をいれると「日付/時刻」設定画面がでる。

### 2 日時を変更する

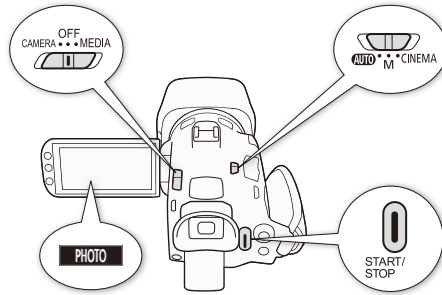
- ① 項目(年月日時分)をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
  - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
  - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする。



Step 5

## 動画や静止画を撮影する

**AUTO** (オートモード) では、ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できます。



### 1 動画を撮る

START/STOPボタンを押す。もう一度START/STOPボタンを押すと、1シーンの動画が記録され、撮影が一時停止する。

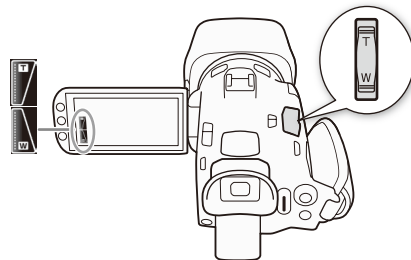
### 2 静止画を撮る

PHOTOボタンをタッチする

### 拡大して撮る (ズーム)

グリップズームや画面上のズームボタンなどで操作します。広角にするときはW (ワイド) 側に、望遠にするときはT (テレ) 側に操作します。

FUNC.メニューの「ZOOM」(ズーム) をタッチして表示する。



## 動画や静止画を撮影する

### 動画形式を選ぶ

本機ではAVCHD形式、MP4形式の2つの動画形式で動画を記録できます。

MP4形式の場合、以下を行うことができます。

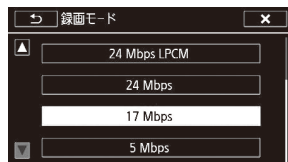
- ・ iPhoneなどスマートフォンでの再生
- ・ YouTubeやFacebookなどへのアップロード



- ① **FUNC.** をタッチする。
- ② **MENU** (メニュー) → → 「動画形式」をタッチする。
- ③ 「**AVCHD** AVCHD」または「**MP4** MP4」を選ぶ。
- ④ **X** をタッチする。

### 画質を選ぶ

AVCHDとMP4それぞれで録画モードを設定できます。AVCHDで「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で撮影すると、音声はリアPCM(16ビット、48kHz)の2チャンネル記録が可能です。また、録画モード( [PDF](#)▶52)の「3Mbps」は、速報用データとして活用。FTPファイル転送機能を使い撮影後すぐにファイルを転送して編集可能です。



- ① **FUNC.** をタッチする。
- ② **MENU** (メニュー) → → 「録画モード」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。
- ④ **X** をタッチする。

録画モードの詳細や、録画時間の目安については、ビデオカメラの使用説明書(電子マニュアル)をご覧ください。

画質を選ぶ [PDF](#)▶52

### スマートフォンなどを使ってビデオカメラをコントロールする

スマートフォンやタブレットの画面で、離れた場所に設置したビデオカメラをリモートコントロールできます。操作の詳細については、ビデオカメラの使用説明書(電子マニュアル)をご覧ください。

スマートフォンをリモコンとして使って操作する [PDF](#)▶172




**MEMO**
● **こだわりオート**

カメラモードが**AUTO**（オート）時、シーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面にマークが出ます（[PDF 47](#)）。

● **マルチシーンIS**

カメラモードが**AUTO**（オート）時、撮影状況によって自動的に設定されます（[PDF 48](#)）。

● **さまざまな設定を自分で行うときは、カメラモードをM（マニュアル）に、シネマリックフィルターを選んで映画のように撮るときはカメラモードをCINEMA（シネマ）にしてください。**

カメラを操作する [PDF 31](#)

動画や静止画を撮影する [PDF 44](#)

映画のように撮る [PDF 59](#)

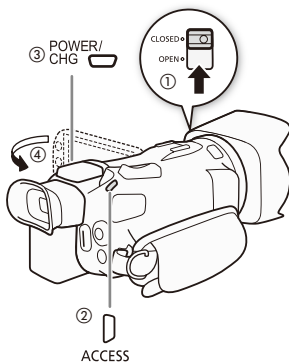
● **ズームについて**

光学ズームで20倍まで拡大でき、デジタルズームを使うと400倍まで拡大できます（[PDF 207](#)）。

● **ズームスピードについて**

画面のズームボタンで操作するときは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べます（[PDF 75](#)）。グリップズームで操作するときは、グリップズームの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります（[PDF 69](#)）。

## 撮影を終了したとき



- ① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
- ② ACCESSランプが消えていることを確認する。
- ③ POWER（電源）スイッチを「OFF」にする。
- ④ 有機ELパネルを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。


**ご注意**

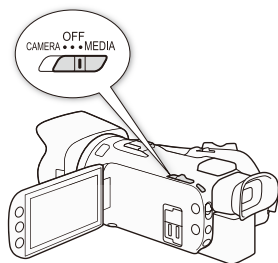
- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

# シーンや静止画を再生する

撮った動画や静止画を再生します。インデックス画面で見たいシーンを探します。カードや動画形式 (AVCHD形式またはMP4形式) を切り換えるときは、再生インデックス画面で行います。

シーンを再生する [PDF▶130](#)

写真を見る [PDF▶146](#)



- 1 POWER(電源)スイッチをMEDIAにする  
インデックス画面が表示される。

- 2 インデックス画面で見たいシーン／静止画を探す

「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーン ([PDF▶91](#)) には、が表示される。



左右にドラッグする、または左右の◀/▶をタッチすると前／次の画面が出る。

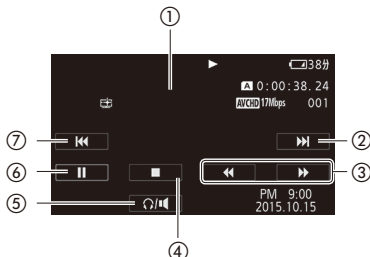
動画や静止画、カードAやカードBを切り換えるとき

- ① をタッチする。
- ② タッチして、カードAとカードBを切り換える。
- ③ タッチして、**AVCHD** (AVCHD形式)、**MP4** (MP4形式)、  
静止画を切り換える。



### 3 シーン／静止画をタッチする▶再生開始

- タッチしたシーンの再生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。



- ① 液晶画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。もう一度タッチすると消える。
- ② 次へスキップ
- ③ 早戻し/早送り\*(もう一度タッチすると再生速度が速くなる)
- ④ 再生停止
- ⑤ 音量
- ⑥ 再生一時停止(もう一度押すと再開する)
- ⑦ 前へスキップ(連続して2回タッチすると前のシーンの先頭へ)

\* 再生一時停止中に操作すると、逆スロー再生/スロー再生になる。

#### 静止画のとき

選択した静止画が表示される。左右にドラッグすると、前/次の静止画に切り換わる。画面上をタッチすると操作ボタンが出る。

## Android / iOSのスマートフォンなどのWebブラウザで見る

本機に記録した動画や静止画を、スマートフォン、タブレットやパソコンなどのWebブラウザで一覧表示したり、再生やダウンロードしたりすることができます。操作の詳細については、ビデオカメラの使用説明書(電子マニュアル)をご覧ください。

Android / iOSのスマートフォンなどのWebブラウザで見る [PDF](#)▶179



#### ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。



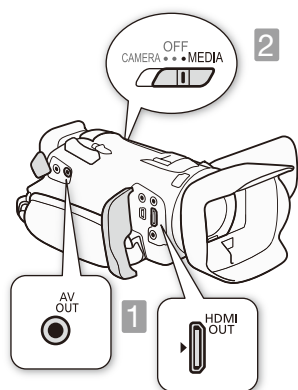
#### MEMO


- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。

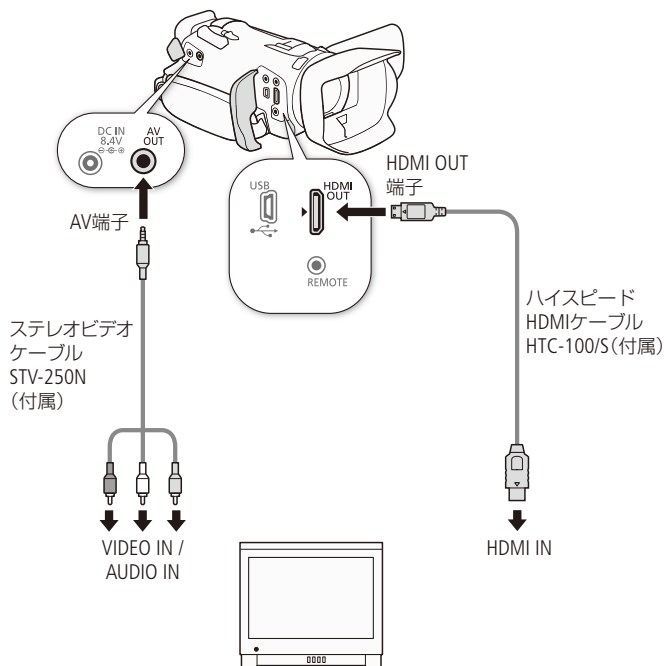
## 外部モニターを接続する

再生映像をテレビなどの外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を選びます。

外部モニターを接続する  140



- 1 ケーブルを使って外部モニターと接続する
- 2 本機と外部モニターの電源を入れる
  - 外部モニター側で入力端子を切り換える
- 3 再生する (  26 )



 MEMO

- コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、AV OUT端子を使って接続してください。
- モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面(16:9)に切り換わります。

## シーンや静止画をパソコンに保存する

撮影したシーンや静止画は定期的にバックアップしてください。

### Data Import Utility

---

ソフトウェアData Import Utilityを使ってAVCHD形式やMP4形式のシーンをパソコンに保存します。ソフトウェアのインストールと使いかたについてはビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

シーンをパソコンに保存する [PDF](#)▶152

### CameraWindow

---

ソフトウェアCameraWindowを使って静止画をパソコンに保存します。ソフトウェアのインストールと使いかたについてはビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

静止画をパソコンに保存する [PDF](#)▶154

# 安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

## こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

▶▶ そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（☎ 43）にお問い合わせください。

## ⚠ 警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。▶ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。▶ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。▶ 感電

ぬらさない。▶ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

▶ 皮膚の損傷 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

▶ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

▶ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。

▶ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない



禁止



禁止

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。▶ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

▶ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。

▶ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

▶ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。▶ 交通事故

不安定な場所に置かない。▶ けが

落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

▶ 感電 失明 けが



禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。▶ **火災**

内部に熱がこもる恐れあり。

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。▶ **事故**

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

長時間、身体と同じ箇所に触れたまま使用しない。▶ **低温やけど**

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするおそれあり。気温の高い場所で使用する場合や、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使用する場合は、三脚などを使う。



強制

指定された機器を使う。▶ **火災** **感電** **けが**

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ **火災**

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

▶ **火災** **感電**

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。▶ **火災** **感電**

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。▶ **火災**

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。

▶ **けが** **交通事故**



**注意** 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。▶ **やけど**

発熱の恐れあり。



注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。



強制

コード類は、つまずかないように配置する。

▶ **けが**

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。▶ **けが**

バッテリーを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ **けが**

バッテリーやテレコンバーター、ワイドアタッチなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ **けが**

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より22cm程度以上離して使用する。

電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。



# 取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

## ■ ビデオカメラ本体

### データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

### ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

### 強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

### 強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子やビューファインダーなどの内部の部品が損傷する恐れがあります。

### 有機ELパネルの画面を...

つかんでもちあげない → 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなど、とがったものでタッチしない → タッチパネルが破損することがあります。

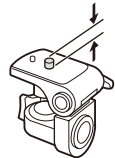
強くタッチしない → タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない → タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

### ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

6.5mm 以下



### Wi-Fi機能について

#### 使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみ使用いただけます。国外ではご使用になれません。

## 取り扱い上のご注意

### 電波に関するご注意

- 本製品には、(財)テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

### 電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

**2.4 DS/OF 4**

この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

### 次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。
- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

## ■ バッテリー

### 端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

### 正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

### インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（[PDF](#)248）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

#### 使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

#### 長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

## 取り扱い上のご注意

### ■ カード

#### データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

#### 端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

#### 磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

#### 高温・多湿の場所に放置しない

#### シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

#### ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

### ■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

#### 充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

## ■ 其他のご注意

### 情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの完全初期化（[☞PDF](#)39）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

### 結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですると故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

#### 結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

#### 温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらぬように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

#### 付属の電源コードは本製品のみ使用する

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

[MENU] (メニュー) →  → 「認証マーク表示」で、本機が対応している認証マークの一部を確認できます。

## ■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。  
ホームページ <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

# 主な仕様

ここでの記載は本機の仕様を抜粋したものです。詳細については「主な仕様」( [PDF](#) 253) をご覧ください。

## ■ iVIS HF G40

システム	
記録メディア	SD/SDHC/SDXCメモリーカード(2スロット)
記録時間	16GB SDカード <b>AVCHD</b> (28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps) : 1時間15分、1時間15分、1時間25分、1時間25分、2時間05分、6時間05分 <b>MP4</b> (35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、8 Mbps (59.94P)、4 Mbps、3 Mbps) : 1時間、1時間25分、2時間05分、4時間20分、8時間40分、11時間25分  32GB SDカード <b>AVCHD</b> (28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps) : 2時間30分、2時間30分、2時間55分、2時間55分、4時間10分、12時間15分 <b>MP4</b> (35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、8 Mbps (59.94P)、4 Mbps、3 Mbps) : 2時間、2時間55分、4時間10分、8時間40分、17時間20分、22時間55分
電源その他	
電源電圧	DC7.4V(バッテリーパック)、DC8.4V(DC IN)
消費電力 (17 Mbps、AF合焦、明るさ「通常」時)	有機ELパネルのみ使用時： 約4.3W ビューファインダーのみ使用時： 約4.4W
動作温度	約0℃～+40℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約109×84×182 mm (レンズフード、グリップベルト含まず) 約115×84×231 mm (レンズフード含み、グリップベルト含まず)
撮影時総質量	約900g(レンズフード、BP-820、メモリーカード(1枚)含む)
本体質量	約765g(グリップベルト含む)

■ バッテリーの充電時間/使用時間の目安\*


付属のバッテリー BP-820の充電時間は約4時間35分です。  
フル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

動画形式	録画モード	連続撮影時間	実撮影時間
AVCHD	17 Mbps	2時間50分	1時間40分
MP4		3時間	1時間45分

\* 充電時間または撮影/再生時間は、録画モードと充電/撮影/再生時の条件によって異なります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください  
ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

### ■ 別売アクセサリについて

本機にはさまざまな別売アクセサリがあります。  
詳細については、「アクセサリ紹介」(  PDF ) 251)をご覧ください。



アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されており、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、破裂など)に起因することが明らか、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



#### インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-820/BP-828(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラがバッテリーチャージャーCG-800D(別売)でのみ使用/充電できます。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

### ■ Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素(走査線)数1080画素(本)のHD(High Definition)映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。



「HF G40」は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

「HF G40」は、Exif 2.3(愛称「Exif Print」)に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



## 商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OS、App Store、iTunes、iPhone、iPad、iPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTube は、Google Inc.の商標です。
- FacebookおよびFロゴはFacebook Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国における Cisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

## MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

# 保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

## ■ 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ■ 修理対応

### 製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張費用を申し受けます。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（[PDF](#)271）にお問い合わせ頂くか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

### 修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、見本のデータやプリントを添付いただくなど故障内容を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

### 修理対応期間について

- ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

### 修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おさください。

# 修理について

## ■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

## ■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

**050-555-99077**(全国共通)

9:00 ~ 18:00 (1月1日~1月3日を除く)

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、**043-211-9316**をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF G40」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送/弊社によるお引き取り)やお届けについてご案内いたします。
- お近くにサービスセンターがない場合は、ご自宅にいながら修理申込みができる「らくらく修理便(引取修理サービス)」をご利用いただけます。キヤノンサポートページの「修理のお問い合わせ・お申込み」→「キヤノン製品を、快適に、安心してお使いいただくために。」→「らくらく修理便」をご覧ください。



ビデオカメラの使用方法やData Import Utilityに関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

**050-555-90003** (全国共通)

9:00～18:00 (1月1日～1月3日を除く)

※上記番号をご利用になれない場合は043-211-9394をご利用ください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報については、こちらをご覧ください。

デジタルビデオカメラ製品情報  
<http://canon.jp/ivis>

キヤノン サポートページ  
<http://canon.jp/support>

CANON iIMAGE GATEWAY  
<http://www.imagegateway.net/>

■保証書は製品の箱に添付されています  
本保証書と納品書を合わせて保管してください。

■本書の記載内容は2016年4月現在のものです  
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

**Canon**

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



リチウムイオン電池の  
リサイクルにご協力ください。